

問題2 法の効力に関する次の記述のうち、妥当なものはいくつあるか。

- ア 慣習法は、一般に、社会に慣習として認識されるに至ったときに成立し、その時点で法的効力を有する。
- イ 法律で施行期日を定めないきは、法律は、公布の日から起算して30日を経過した日から施行する。
- ウ 国家の主権は自国の領域内に限定されるため、わが国の法律も属地主義を原則としているが、属地主義による不備を補完するために属人主義をとる規定も存在する。
- エ 有効期間が限定されている法令を限時法というが、限時法の罰則の有効期間中に行われた犯罪行為について限時法の失効後にその罰則を適用することは遡及処罰の禁止に違反し許されない。
- オ 存続期間の定めのない法律は、これを改廃する法律がない限り、効力を失うことはない。

- 1 なし
- 2 一つ
- 3 二つ
- 4 三つ
- 5 四つ